

第 1 1 採択地区

学校における
調査研究結果報告

令和 6 年 7 月

目 次

国 語	1
書 写	2
社 会 (地理的分野)	2
社 会 (歴史的分野)	3
社 会 (公民的分野)	5
地 図	6
数 学	6
理 科	8
音 楽 (一般)	9
音 楽 (器楽合奏)	10
美 術	10
保健体育	11
技術・家庭 (技術分野)	12
技術・家庭 (家庭分野)	13
英 語	13
道 徳	15

学校における教科用図書調査研究結果 (報告)

【国語】

発行者	調査結果
東京書籍	・「読書案内」に、世界を広げ、未来を考える分野の作品が増えたように感じる。 ・行数の表示がわかりやすい。古典のコラムが資料としてよい。 ・領域ごとに色分けされており、イメージしやすい。 ・「学習の流れ」によって学習の見通しがもてるように工夫がされているので、生徒が次の時間の学習を意識して活動ができる。また、現代的作家の作品を題材に取り入れるなど、興味関心をひく工夫がされている。 ・古典の人物の解説が充実している。知識・技能の単元が会話文で導かれている。図にして簡素にした方が伝わりやすい。
三省堂	・登場人物の心情や文章を比較する手立てが、キャラクターを用いながら説明されている。 ・「語彙を豊かに」のコーナーが教材ごとにあるのが丁寧である。 ・QRコードの数が充実している。 ・古典をより身近なものとして感じられるような工夫がみられる。馴染みが薄い古典に取り組みやすいように古典芸能や古典作品が意図的に掲載されている。 ・表紙が色彩豊かであることや、今風の歌詞を題材に取り入れるなど、生徒の興味関心をひく工夫がみられる。 ・複数の資料を見比べたり、参照したりする単元が充実しており、授業に生かしやすい。
教育出版	・ひとつひとつの話のあとに問題（道しるべ、学びナビ）があることにより、流れを頭の中に入れて授業を受けることができる工夫がみられる。 ・巻末資料のデザインが工夫されている。解説も丁寧だった。 ・SDGsに対応した表記がある。 ・読書活動を推進する工夫がされている。例えば単元ごとに「広がる本の世界」が配置されている。読む力や創造する力が養われるような工夫である。 ・内容や挿絵がシンプルでUDに対応している。 ・フォントや余白の使い方が特徴的で、読むときに注目しやすい。
光村図書	・体験活動の充実を図るため、文集や手紙、電子メールなど複数の方法で表現する活動が設定されている。 ・新しい教材と昔からの教材のバランスがとれていた。 ・QRコードの数が充実している。品詞分類表がわかりやすい。 ・3年間を通して系統的に学べるように課題設定がされている。現在、使用している教科書なので生徒も教師も学習がしやすい。 ・題材と関連するように文法が配置されるなど、授業を進めやすい構成になっている。 ・学びへの扉がわかりやすい。思考の手順が明確で、授業にそのまま生かすことができそうな部分である。

【書写】

発行者	調査結果
東京書籍	・行書の指導のしやすさがある。自分の書き方を振り返りやすい。 ・穂先が分かりやすく、実践に移しやすい。 ・毛筆→硬筆の流れが明確である。 ・「楷書と行書の使い分け」が、言語能力育成の活動の中で設定されている。 ・運筆動画が教材ごとにあり、工夫されている。 ・「見つけよう」で文字と文字を比較し、指でなぞる活動をすることで本時のポイントを意識して学習ができるよう工夫されている。
三省堂	・二次元コード一覧が見やすく、活用しやすい。 ・ワーク的側面があり、練習を同時に行える。 ・具体的な説明がなく、考えることに重きが置かれている。 ・書き込みのページが充実している。1冊で学びが完結できるようになっている。 ・「振り返ろう」を上手に活用することで、学んだことが実際の生活で生かせるような構成となっている。
教育出版	・自ら課題発見することがしやすい作りになっている。 ・「振り返り」までが明確で流れをもとに学習ができる。 ・見開き手本に中心線があり、中心をとらえやすい。 ・教科書のサイズが中途半端である。 ・動画解説が準備されている。 ・硬筆・毛筆の課題発見を行い、それを活かして改めて学習をする構成となっているので、自分自身の課題に向き合いやすいよう工夫がされている。
光村図書	・特に手本が見やすく、細部まで観察しやすい。 ・書写ブックが活用しやすい。 ・見開き手本に朱墨も追加で記載があり、穂先が分かりやすい。 ・左利きの生徒向け QR コードがありよい。 ・学習指導書にお手本作成ツールがある。イラストが多く、イメージしやすいページが多い。 ・見開きで学習目標・活動というように一目で本時の学習がわかりやすく掲載されている。

【社会（地理的分野）】

発行者	調査結果
東京書籍	・単元の導入ページに中学生の意見が紹介されており、生徒が親しみやすくなるような工夫がされていた。また、県章や国旗などが表示されている工夫があった。 ・資料の種類が豊富であり、以前に比べデジタルコンテンツが充実しており、各単元の導入クリップは活用の幅が広がる。 ・思考ツールの使い方を学ぶページも以前に比べ使い勝手が良くなっている。 ・全体的にバランスが取れた構成となっている。 ・QRコードで資料を読み取ることができ、生徒に興味関心を持たせることができる。 ・歴史・公民との関連が一目でわかるようなマークを活用することで多面的・多角的な考察ができるような工夫がされている。

教育出版	・統計資料が細かく図示されており、深く学べる工夫があった。 ・本文を囲むように資料が配置されており、全体的に見やすい。 ・資料の数も多すぎず内容的にもシンプルである。 ・他社に比べるとデジタルコンテンツが少ない。 ・「表現」のコーナーを設定し、毎時間の振り返りをまとめる活動がある。 ・身近な地域や伝統文化を丁寧に扱っている。郷土を愛する心を一層育てることができる工夫がされている。
帝国書院	・単元のまとめのページでは、地図が表示されており、地理的な事象等を結び付けて学習しやすい工夫があった。 ・特設ページがイラストで表現されているなど、生徒に掴ませたい内容を絞りやすい。 ・資料・写真が多く、興味や関心を広げていく工夫がみられる。 ・掲載されている資料の数が多く、各資料に対する説明もわかりやすい。 ・パフォーマンス課題が設定されており、学習した知識を活かした課題解決ができるような工夫がみられる。
日本文教出版	・写真が大きく掲載されており、資料の読み取りがしやすい工夫があった。 ・UDフォントを使用している。脚注に小中の連携についても触れられている。また、道徳や他教科との関連も図られている。 ・資料が豊富で、全体的に色彩の工夫もあり、分かりやすい表示になっている。 ・「小学校の学習の振り返り」を取り入れ、学習の見通しを持たせている。 ・「学習課題」の箇所に「見方や考え方」で着眼点を示していて、わかりやすい。 ・「議論してみよう」など、知識を活用してそれをアウトプットする活動が意図的に入っている。

【社会（歴史的分野）】

発行者	調査結果
東京書籍	・単元のまとめのページで思考ツールが多く紹介されており、深い学びがしやすいような工夫がされていた。 ・資料の種類が豊富であり、思考ツールの使い方を学ぶページも以前に比べ使い勝手が良くなっている。 ・探求課題や学習課題がはっきりと明示されており、小单元ごとにそれぞれ一言で学習内容を表すキーワードが書かれている。 ・小学校社会科で学習した内容を用語や写真を同一にすることにより、円滑に接続できるように工夫されている。 ・本文の分量が少なく、生徒が扱いやすいようコンパクトにまとめられている。 ・資料が豊富で活用しやすいため、生徒の資料活用能力の育成がなされるよう工夫されている。
教育出版	・絵画資料が多く掲載されており、導入や課題として取り組ませやすい工夫がされていた。 ・本文を囲むように資料が配置されており、全体的に見やすい。 ・資料の数も多すぎず内容的にもシンプルである。 ・他社に比べるとデジタルコンテンツが少ない。 ・各章のまとめが、どれも同じようなまとめ方であった。 ・導入資料として「THINK」が掲載されており、興味関心をもって本時の学習に取り組めるような工夫がされてる。
帝国書院	・文章での情報量が多く、より詳しく学べる工夫があった。

	・特設ページ（タイムトラベル・アクティブ歴）が写真でなくイラストで構成されていることで、気づかせたい部分を強調し生徒の気づきにつながりやすくなっている。 ・資料が豊富で、全体的に色彩の工夫もあり、分かりやすい表示になっている。 ・QRコードを利用した資料の提示が多く、生徒の興味関心をひきつけている。 ・「地域史」が掲載されており、学習内容の定着が難しい単元を克服するための工夫がされている。
山川出版	・単元のまとめがワークシート形式になっており、生徒にとって取り組みやすい工夫がされていた。 ・高校の教科書に近い構成である。歴史的事象の背景や因果関係に触れて詳しい説明がされている。また、世界史の学習内容が充実している。 ・活字と資料の配置が同じに構成されており見やすさの工夫がある。さらに資料を小さくすることにより活字を多くとる工夫がされている。 ・世界史と日本史の関連が多く、わかりやすい。 ・高等学校の内容を意識した構成となっている。また、世界の歴史に関する内容も充実している。
日本文教出版	・和歌や日記、小説など文学的な資料が多く掲載されていた。 ・資料活用の特設ページが充実している。大判の資料で絵画等を読み取る作業などで主体的な学習を促しやすい。 ・資料が豊富で、全体的に色彩の工夫もあり、分かりやすい表示になっている。 ・情報量が多く、生徒が資料から判断し考察していくのが難しいと思う。 ・小学校で学習した内容や人物が欄外に記載されており、新たな知識と紐づけられるような工夫がされている。
自由社	・歴史的事象について、「なぜ～」といった形式で説明されており、生徒が理解しやすい工夫がされていた。 ・古代までの日本の学習内容が充実している。思想や主義等の説明が細くなされている。近現代で紹介される歴史的人物の人数やエピソードも多い。 ・近代において、写真の選定が他の教科書にはない工夫が見られる。 ・情報量が多いわりに、世界史分野の情報量が少ない。 ・コラムが掲載されており、その時代の人物や時代背景をさらに掘り下げて学習ができるような工夫がされている。
育鵬社	・単元の導入のページで絵や写真が掲載されており、また、質問の形式も統一されており、UDの視点を取り入れた工夫がされていた。 ・單元ごとに学習の進め方についての例示があり、「学習の流れが見える教科書」である。学習課題以外に節ごとの課題を示している。 ・人物や出来事のコラムも充実している。 ・情報量が多く、生徒が資料から判断し考察していくのにやや扱いにくいと思われる。 ・郷土を愛する工夫が多くのページにみられる。
学び舎	・本時のタイトルが生徒にとってイメージしやすい語句が使われていた。 ・全体的に、近代史と現代史中心に構成されている。 ・子供や女性がどのような立場にあったかに多くスポットを当てている。単元末に時代を大観・表現するページが充実している。 ・情報量が多く、生徒が資料から判断し考察していくのが難しいと思う。 ・日本からだけでなく世界や東アジアから歴史をみる様々な工夫がみられる。

令和書籍	・写真などの資料が白黒であったが、文章での情報量はとても多かった。 ・文章量・学習内容ともに多く視覚的な資料が少ないので、上位層以外が中学校の授業で教科書として使用するのはやや難しいように感じる。 ・資料が少なく、活字中心に構成されている。 ・日本史の情報量が多くわかりやすいが、世界史の情報が少ないと感じる。 ・縦書きを採用していることが特徴的である。
------	---

【社会（公民的分野）】

発行者	調査結果
東京書籍	・写真やグラフ、イラストなどが豊富に提示されているため、学習内容を理解するのに役立てられる。 ・日本の領土について、地図や写真で明確に記述している。 ・「深めよう」や導入の活動に学び合い学習に活用できる内容が豊富に盛り込まれている。 ・課題とまとめまでの流れがわかりやすく、生徒の思考力を育成しやすい。 ・1時間の学習の流れがわかりやすいページ構成となっている。また、資料も豊富で活用しやすいものが多い。
教育出版	・写真やグラフ、イラストがわかりやすく提示され、バリエーションが豊富。そのため、様々な視点から課題を探究することができる。 ・ワイドで、判読しやすい配色、表現方法、文字など工夫している。 ・「公民の技」というコンテンツが学習した内容を自分の実生活とリンクさせて考える活動となっている。 ・学習の最後に、「表現」のコーナーを設定しているので、振り返りを行いやすい。 ・現在社会の「見方・考え方」を働かせながら考察ができるよう工夫がされている。
帝国書院	・章や節の振り返りでは、章の問いを節の問いが支えていることやまとめ方がわかりやすく示されている。 ・識別しやすい色を使用し、文字は間違いにくいデザインで、落ち着いて学習できるよう工夫されている。 ・日本の領土について、地図や写真で明確に記述している。 ・QRコードを活用した資料の提示資料が豊富である。 ・資料が豊富で、思考力・表現力・判断力が養えるような資料が精選されている。
日本文教出版	・章ごとにポートフォリオ（QRコード読み取り）があり、章や節の問いに取り組むことで、学習内容のまとめに取り組むことができる。 ・資料が多く、見やすく構成されている。 ・脚注に小中の連携についても触れられている。また、道徳や他教科との関連も図られている。 ・「学習課題」の箇所に「見方や考え方」で着眼点を示していて、わかりやすい。 ・身近な生活を例に出し、自分自身と現在社会の接点がわかりやすくなるような工夫がみられる。
自由社	・「もっと知りたい」では、日本の国柄がわかるテーマや社会が直面している課題を取り上げ、日本社会に興味を抱かせられるような工夫がされている。 ・資料は多少少ないが、要点を抑え、コンパクトにまとめられている。 ・天皇や国旗・国歌への愛情などについて触れている。 ・情報量が多く、生徒が資料から判断し考察していくのにやや扱いにくいと思わ

	れる。 ・自ら考え、表現する活動が意図的に設定をされている。
育鵬社	・写真やグラフ、イラストがわかりやすく提示され、バリエーションが豊富。そのため、様々な視点から課題を探究することができる。 ・地理的分野・歴史的分野とのつながりが視覚的にわかりやすく表現されている。 ・全体的に資料写真が暗く感じる。 ・「虫の目」で時代の特色をつかむ」という項目を設けて、生徒の学習に対する興味・関心を高めている。 ・問題解決型の学習となっており、学習内容を深く追及ができるような工夫がみられる。

【社会（地図）】

発行者	調査結果
東京書籍	・州によって資料の違いがあるため、概略が掴みにくい場合がある。 ・3年間、社会科(地歴公)で使用できるような工夫が見られる。 (歴史・公民マーク) ・地理・歴史・公民の教科書に掲載している内容を、さらに詳しく紹介されている。 ・A4判を採用しており、広い範囲の地形図を大きく表現することができる工夫がされている。
帝国書院	・様々な種類の地図や統計資料、歴史に関わる記載が多く示されているため、どの分野においても活用がしやすい。 ・全体的に明るく、見やすく構成されている。 ・ICTを活用した資料の提示にも力をいれており、資料の提示方法やその表現も豊富である。 ・地形図の中に様々な情報が積み込まれており、興味関心を引き出す工夫がみられる。

【数学】

発行者	調査結果
東京書籍	・調べてみようや考えてみようの問が多く生徒の思考判断表現の力が生徒に身につく。 ・章ごとの問題が難易度別(A・B)にわかれており、生徒が意欲的に学習に取り組めるような工夫がされている。 ・身の回りの生活への活用の内容が充実している。 ・デジタルコンテンツが、図形分野を中心に充実している。基礎・基本の習得に向けた「ちょっと確認」があるのがよい。 ・章末問題が基本的な内容から発展(身の回りのことや生活に関する内容)まで幅広くある。節ごとに練習問題があるのも良い。
大日本図書	・コラムが多くあり、生徒の身近なもので数学を考えることができる。 ・それぞれの章のまとめで活用・探究の問題があるため、生徒が考えを深められそうな工夫がなされている。 ・活用、探究の内容が充実している。 ・たしかめや補充問題が用意されており、個別最適な学びにつなげることができる。

	る。 ・身近な題材からスタートして、その中の疑問を一つ一つ解決して、学ぶ内容を取り上げている。数学と身近なものを結びつけている。
学校図書	・1時間での目標や課題が明確化されており、生徒も授業に参加しやすい。 ・各章のまとめの問題でSDGsに合わせた問題があり、現代にあっていそうであった。 ・発展的な内容の解説が丁寧になされている。 ・見開きページの右下に「次の課題へ」の記載があり、次時の学習へのつながりを意識させることができる。 ・目標が書かれていて、このページで何を学ぶかが明確である。分かったことと課題が書かれていて、つながりがある。授業を進めやすいように、また、生徒が家で復習しやすいようなレイアウトである。 ・「計算力を高めよう」を通して、基礎・基本が身に着けられるような工夫がみられる。
教育出版	・1年の数学が、正負の数からでなく、素数、累乗から始まる。他の単元も学習の流れがわかりやすい。 ・章ごとのまとめ問題だけでなく、用語等が穴埋め形式でかかれており、重要語句を理解しやすい工夫がなされている。 ・発展的な内容が充実していて、思考・判断・表現を育む内容が充実している。 ・SDGsや社会福祉・伝統芸能、他教科とのつながりを意識した記載がある。 ・身近な事象を例題や問いにしている。コラムや発展的な話などが単元の合間に入っており、数学という分野に興味をもたせる工夫がされている
啓林館	・QRコードを読み込むことで、図形が回転している様子をみられるなどと視覚的に問題に取り組むことができる。また、解答や解説をQRコードでみられるようになっているので、生徒が主体性をもって問題に取り組める。 ・各問題に補充問題がどこにあるか書かれているため生徒が主体的に問題を多く解くことができる工夫がなされている。 ・デザインやレイアウトが変わったが、内容の変更はあまり感じられなかった。 ・協働的な学びにつながる「話し合おう」や「説明しよう」の記載がある。 ・よりカラフルになり、わかりやすくなった。前回よりも章末問題の問題数が増加した。利用の問題がより身近な内容になった。
数研出版	・QRコードで補充問題が解ける。題材に生徒の興味をひきそうなものが多い。生徒同士で会話しているような表現が多く、主体的な学びを意識している。 ・丁寧な指導内容で、見方・考え方を働かせる工夫がなされている。 ・章の最後に、学んだことを活用しようがあり、学習と日常生活とのつながりを意識させている。 ・生徒同士の対話を軸に単元の説明が行われている。作図の例題が面白そうで生徒が楽しんで作図の仕組みを考える工夫がされていた。 ・「学びの自己評価」が設けられ、自分の学習の振り返りを行うことができる工夫がされている。
日本文教出版	・シンプルな作りで要点がわかりやすい。 ・QRコードにどのような内容なのか書かれており、わかりやすい。 ・デザインがシンプルで、UDに配慮がなされている。 ・学びの動機づけに向けた、日常と関連した写真が掲載されている。 ・シンプルで見やすい。対話シートが予想と解法を考える仕組みになっていて、考える力を育む工夫がされていた。単元の前にその単元に必要な知識が振り返る

	ことができるように練習問題が用意されていた。 ・「数学マイトライ」では、数学と社会の関連が図られ、教科横断的な学習ができる工夫がみられる。
--	--

【理科】

発行者	調査結果
東京書籍	・表現方法が写真ではなく絵が多い。教科書のサイズが元に戻り、使いやすいサイズになった。使われている日常をうまく切り取った写真をしよきていて生徒の興味を引くつくりになっていた。授業の流れが教科書でできていて、若手の教員には使いやすいと感じた。 ・観察・実験の説明部分で実物の写真が使われているためわかりやすい。 ・導入部分では生徒の興味をひく写真が使われていたり、身近な理科の事例や科学の歴史が紹介されていたりするため、生徒の興味・関心が高まる工夫が見られる。 ・单元ごとに、課題の設定、考察、振り返りの流れが明確に示されており、授業の流れの中で活用しやすい。 ・单元配列がわかりやすく、見やすい。実験が数多く紹介されており、授業を進めやすいと思った。
大日本図書	・文字と図のレイアウトによって文章が読みにくい。他の教科書で使用されていない実験が紹介されていて興味深かった。 ・既習事項が明確に示されており、本題の学習につなげやすい。 ・「やってみよう」の項目が多く、発展的な学習を促す工夫がされている。 ・一方で疑問から実験・観察へのつながりが分かりづらかったり、実験から予想される結果が隣接したページに示されていたりすることから、授業の展開の中で活用することが難しいと感じる部分があった。 ・やや文字が小さめの印象を受けた。1ページあたりの情報量が多い。 ・单元は、小学校との関連を重視した配置となっている。観察・実験のしやすい時期、学年による理科室の使用の重なりなどに配慮されている。
学校図書	・読み物としては良いが、重要語句が見つけにくい。授業の流れが分かりやすい教科書であった。 ・図や表が大きく、文章が少なめに設定されていることから、文章の読み取りが苦手な生徒でも感覚的に内容を捉えやすい。 ・操作上の注意点等が朱書きにされているため、生徒に安全性を意識させやすい。 ・観察、実験の説明と結果のページが見開きになっている部分があり、結果ありきの探求活動になってしまうことが考えられる。 ・文字が中心となっていたので、もう少し、絵や写真があるとよいと感じた。 ・SDGs関連の資料が随所に設けられている。
教育出版	・図が大きく見やすい 実験結果を書き込むスペースがある。使用している写真が興味をそそるものであった。 ・重要語句が朱書きで示されていたり、科学コラムの内容が充実していたりと、生徒が自ら学習に取り組みやすい工夫がされている。 ・実験、観察についてはステップが分かりやすく示されていたり、写真や図が分かりやすく示されていたりする。 ・知識等のページが見やすくてよい。実験方法のページがもう少し大きいと見やすいと思った。 ・疑問を見つける部分ではヒントとなる内容が多く示されており、生徒が思考を広げている。

	くような活動がしづらい。 ・探究の過程がマークで示されているので流れをつかみやすい。
啓林館	・探Qシートは使いづらいと感じた。タブレットを使用して、家庭で復習しやすいつくりになっていた。高校の内容も書かれているので、混乱してしまう生徒もいるが上を目指す生徒にとっては良い。 ・小学校からの系統性が分かりやすく示されているため、これまでの学習を振り返りながら学習を進めることができる。 ・コラムでは「○○ラボ」というように、様々な分野での理科の関連が示されているため、生徒の興味をひく工夫が示されている。 ・掲載順が旧二分野から旧二分野の順になっているため、学校によっては教科書の掲載順で授業が進まず、教員や生徒が混乱することが考えられる。 ・現行版と比べて写真が見やすいものが増えた。実験結果等のページがもう少し詳しく書かれているとよい。 ・「理科の見方・考え方」を働かせる工夫がみられ、見通しをもって実験等を行うことができる。

【音楽（一般）】

発行者	調査結果
教育出版	・歌唱曲が多い印象だった。 ・日本の伝統的な音楽の譜面が多く、大きく見やすい印象だった。 ・デジタルコンテンツが充実していて、演奏の例や作曲者の言葉を確認することができる。 ・学習マップがあり、めあての中でどんな力をつけさせたいのかが目次に細かく書かれていて授業や指導案作りの手がかりになりそう。 ・合唱教材はやや簡単すぎる選曲で合唱コンクール等では活用しづらい印象がある。 ・SDGs やユニバーサルデザインの視点を取り入れている。導入部分で、関心を高める工夫がされている。 ・表現方法のポイントが示されており、音域や歌詞の内容がわかりやすく掲載されている。 ・鑑賞の教材に音楽史の年表がついており、時代背景を考慮しやすい。
教育芸術社	・合唱曲がどれも歌いやすい音域で取り入れやすい。 ・色合いが工夫されていてパートの役割や、旋律の動きが見やすく変更されていると思いました。 ・デジタルコンテンツが充実していて、パートの音源をQRコードで確認でき、タブレットで音楽創作が出来るツールがあるのが充実している。 ・合唱の教材と鑑賞の教材、伝統音楽の教材がページである程度まとまっている。 ・一つ前の教科書よりも合唱の教材が、生徒達の実態や実際に歌われる学年と合っている。 ・学びへの動機づけとして、音楽界で活躍されている方々への「音楽とは何か」というインタビューを掲載している。 ・音楽の学習と自身の生活を関連付けて学べるような工夫がみられる。 ・学びのコンパスでは、思考した内容を実際に音に出し確かめることができる。

【音楽（器楽合奏）】

発行者	調査結果
教育出版	・譜面が大きく見やすい印象だった。演奏されていた時代がはっきりしているの で、日本の伝統的な楽器を演奏する上で親しみを持ちやすいと感じた。 ・教材の選曲が現代の音楽やアニメソングなどバラエティに富んでいて、生徒の 興味関心を引く工夫がなされている。 ・リコーダー等の教材は二重奏のものが多く、協働的な学びを意識した作りとな っていた。 ・邦楽器のページも楽譜が充実しているほか、箏の楽譜は音符のものと糸譜のも の二種類掲載されていて、様々な選択肢がある。 ・楽器の奏法について、写真付きで詳しく説明されている。デジタルコンテンツ も豊富に用意されている。 ・自分や他者と多様な表現活動ができるよう工夫がみられる。 ・多くの和楽器が写真付きで掲載されている。
教育芸術社	・レベル別に沿った選曲に変更されている。何から学びどう発展させていくのか 展開がわかりやすく授業に取り入れやすい。 ・教材の選曲はやや古典的。前回の教科書と大きな違いは感じられなかった。 ・学びのコンパスというコラムが新しくできていて、主体的・対話的で深い学びを 目指す授業の実践方法は分かりやすく書かれている。 ・ボディパーカッションなどのリズムのみで演奏できる曲が増えた。楽器がなく ても取り組める器楽曲として面白い活用ができそうである。 ・様々な楽器の演奏場面を躍動感あふれる写真で紹介している。 ・有名人からのメッセージなどを掲載し、意欲的に学べる工夫がみられる。 ・各教材に題材目標にせまるための音楽を形作る要素学習のポイントが掲載され ていることの資料が充実している。

【美術】

発行者	調査結果
開隆堂出版	・目標部分の色がはっきりしていて見やすい。参考作品も多くある。2冊なので内 容がまとまっている。 ・1、2・3と3年間で2冊。新しい題材が多く、提案の仕方、生徒へのめあてが分 かりやすい。 ・表紙に凹凸があり、触ることで作品を感じることができる。(1・・・ガウディのタ イル、2・3・・・ゴッホのひまわりの筆使い) 美的な視野を広げる工夫が随所に みられる。 ・表紙が触って楽しめる質感になっている。振り返りシートなどのワークシート が充実している。 ・考えるポイントが掲載されており、構想を練ることができるよう工夫がみられ る。 ・「図画工作から美術へ」のページが、美術という教科の興味をひくような工夫が みられる。
光村図書	・ミニ資料集がついていて、欲しい内容が見てすぐわかるのであると助かる。各題 材に表現と鑑賞のページがあり、教員の中でどこを重点に置かわかりやすい。 ・1、2・3と3年間で2冊。技法などの解説の資料集が別冊でついているのは、魅

	力的である。 ・題材の提案、作品例の配置など分かりづらい。 ・作品の制作の過程が詳しく紹介されている。発想を広げるための別冊資料が用意されている。 ・国内、海外問わず多様な作品が掲載されており、様々な表現活動にふれる工夫がみられる。 ・資料が別冊であり、3年間の政策に有効に活用できる工夫がみられる。
日本文教出版	・今まで使っていたものだが、今回は見づらく感じた。白地の部分が多く、目標が読みづらい。しかし、題材名は具体的でわかりやすい。 ・1, 2・3上, 2・3下と3年間で3冊。作家と生徒の作品が見やすく、バランス良く配置されているので、見やすく使いやすい。 ・題材が魅力的である。生徒の学びを支える作りになっている。 ・授業導入用動画が用意されており、学びはじめを大切にしている。 ・美術の学びが生活につながるよう、様々な職業の人物紹介が掲載されている。 ・多くの題材が掲載されていて様々な授業展開を考えることができる。表現のヒントがあり政策の助けになっている。

【保健体育】

発行者	調査結果
東京書籍	・見開きを1単位としてわかりやすく、イラストが豊富で見やすい。二次元コードもあるのでICTの活用にも効果的である。 ・イラストや図が多く、文章も非常に分かりやすかった。 ・保健分野については生活習慣病についての資料が充実している。 ・QRコンテンツが充実している。巻末スキルブックで、「学びを生かす」ことができる工夫がされている。 ・図と文章のバランスがよく、使用しやすい。性教育の分野については、細かいところまで説明されていて、生徒が理解しやすい構成になっている。 ・イラストやグラフ(情報)がもっとあるとよい。
大日本図書	・CBT形式のWEBテストなどのコンテンツが豊富であり、挿絵なども多用されていた。 ・実際の話題になっている保健体育のニュースやトレンドがイラストや図で生徒達が興味を持ちやすい内容になっている。 ・文章量が4つの教科書で一番多く感じた。余白が少なく、見づらい教科書に感じた。 ・左ページが本文、右ページが資料の構成となっている。躍動的な写真が多く、生徒が惹きつけられる。 ・実用的な内容が多く、知識だけでなく技能も身に着けられるような構成になっている。生徒が、身近な問題として考えを深めることができ使用しやすい。
大修館書店	・復習から入ることができ、3つのステップで取り組めるので見通しを持ちやすい。イラストや写真が豊富で、視覚的に覚えやすい。 ・今、話題になっているアスリートや体育施設などが取り上げられている。 ・今までのレイアウトを踏襲し中身を更新しているのが使いやすいと感じた。 ・現代的な課題に対する説明が詳しい。(性の多様性など) 動画コンテンツが充実している。 ・コラムや事例が充実していて、生徒が興味を持ちやすいと感じた。二次元コード

	を読みこむことで、生徒がその場で問題に取り組めるため、知識の定着につながりやすい。
Gakken	・グループで学び合い活動を通して協同的な学びが得られやすい。デジタルコンテンツも豊富で、実習など動画を見ながら行うことができる。 ・内容は充実している。小学校からの接続が意識されている。 ・現代風の文字で生徒は読みやすそうな印象を受けた。 ・学習の導入段階（ウォームアップ）が工夫されていて、学びへのアプローチがよい。 ・図の配置に工夫が必要であり、文章が読みづらく感じる。そのため、授業の展開が難しいだけでなく、生徒も理解しづらいと感じた。

【技術・家庭（技術分野）】

発行者	調査結果
東京書籍	・「技術の問題解決の工夫」から「問題発見と課題の設定」を学習した後に「問題解決の評価、改善・修正」を行い、自らの学習過程を振り返られるよう工夫されている。 ・総合的な問題解決に関する学習例などが充実している。 ・QRコードによる情報コンテンツアクセス→静止画と説明だけなので活用しにくい。 ・編末資料、テックラボの内容が生徒にとって活用しやすいまとまりになっている。 ・実際の社会生活との関連内容が少ないので、生徒は生活に結びつけにくい。 ・QRコンテンツが充実している。紙面が見やすく、わかりやすい。 ・知識を広げるための資料は分かりやすい。工具の使い方などの説明や解説もわかりやすくまとめられていた。
教育図書	・ガイダンスにおいて、「技術の問題解決って何？」という項目を設けるとともに、各内容とも問題解決の流れを4つのステップで統一した構成にして、生徒が思考しやすい工夫がされている。 ・スキルアシストが充実している。（基礎基本の辞書替わり） ・各分野に設計計画シートがあるため、授業で活用しやすい。 ・実際の社会生活に関連した内容や情報がない。 ・プログラミングについての記載が充実している。QRコンテンツが充実している。 ・持続可能な社の実現のために考えたり調べたりすることができるようになっていく。
開隆堂出版	・各内容とも実習例の中に問題解決の手順を示しており、生徒自身が主体的に「問題の発見や課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（制作、飼育）」「成果の評価と改善」の学習過程をすすめられるよう工夫されている。 ・巻末の総合実習の内容量が多く、充実。新たな発想を生かす授業の助けになる。 ・防災、医療、介護の技術に触れる内容が充実している。 ・WEBコンテンツが3つの中で圧倒的に充実。動画、ワークシート、補足資料など。設計シートなどはダウンロード可能になっておりタブレットで編集できる配慮がある。 ・実際の社会生活でどのように技術が活用されているか紹介されているものが多く、生徒にとって、実際の生活に結びつけて新たな発想を生み出すことにつながりやすい。 ・SDGsとのつながりが明記されている。学習のポイントが分かりやすく示されている。

【技術・家庭（家庭分野）】

発行者	調査結果
東京書籍	・文字や写真、挿絵など適切な大きさですっきりと見やすい。目標と課題が設定されている。他教科書と比べ、基礎基本がきちんと載っており、いつでも見返して使用できる。 ・関連資料や図版も多くあり、見やすい。 ・項目ごとのページも内容設定もシンプルが故に印象に残りにくい印象がある。 ・解説が細やかで丁寧である。 ・「生活に生かそう」が掲載され、実際の生活に学習が生かされる工夫がみられる。 ・「持続可能な衣生活」では、様々なアイデアが掲載されており、視野を広げやすい。
教育図書	・文字や写真、挿絵など大きく、見やすいが色が多すぎて情報多可に感じた。章末ごとに学習の振り返りは学習の定着につながる。 ・項目ごと、様々な関連資料・図版があり生徒の理解を促進しやすい印象がある。 ・ユニバーサルデザインの観点でいくと雑多で使用されているカラーも多くどこに注目すればよいかわかりにくい生徒もいるかもしれない。 ・写真や図が豊富で見た目にわかりやすい。 ・多くの問が掲載され、疑問を持ち学習が進められる工夫がみられる。 ・細かいデータや、写真が多く情報量が多い。調理の基本では、ホットケーキの焼き方が掲載されておりとてもわかりやすい。
開隆堂出版	・新しい言葉が多く使用されていたり、イラストは多国籍であったり、多様性を全面に扱っている。どの教科書も QR が使用されているが、文中に QR の使用箇所が書いてあり、資料として有効に使用できる。また、他教科との関連が書いてあり教科をまたいでの学習に繋がる。 ・項目に大きな変化はなく、図版もシンプルで情報を邪魔するものがない印象がある。 ・家族・家庭分野では「多様な家族」が追加されるなど、現代の実情に合わせた改訂が多くあった。話し合いや課題の設定もわかりやすい。 ・資料と本文のバランスがよい。ガイダンス部分が扱いやすい。

【英語】

発行者	調査結果
東京書籍	・Round1～3システムが導入されている。教科書の本文の扱いがしやすい。Unit Activityとして、各課で魅力的な課題が提示されている。 ・Unit の本文は、短い会話文が多く、分量が多い。 ・単元で学んだ表現を使って、1文を書く場所があるので、基本表現はわかりやすい。 ・帯活動のスマールトークや発音記号などの関連資料が多いので、活用できそうである。 ・スマールステップでゴールにつながる構成になっていた。 ・各課のコンテンツに関するイラスト・写真の質が高く、生徒の興味喚起には役立つ。 ・Target Sentence の表示が分かり易く記載されている。 ・導入部の会話のページの会話も他社に比べると語数が多い。3年生になると内容、分量ともかなり厚くなるため、細かい計画と指導が必要である。

開隆堂	・3年生で「現在完了」を取り扱うようになった。絵やイラストがアニメ風で、親しみやすい。Can-do リストがわかりやすくまとめられている。Turning inとして導入が容易である。 ・現行のものと本文の内容は変わっていない。 ・教科書自体の大きさが変わり、単元や Can-Do リストが分かりやすくなっている。 ・登場人物のイラストがごちゃごちゃしていて見づらい。語順など日本語との違いがわかる資料も載っていた。 ・内容は現行と大きく変わっていないが、視覚に訴える内容であった。 ・文法からすぐに本文に入るのではなく、本文に興味を示すような工夫がある。 ・QR で動画を見て、speech の良いところを見るというページが具体的でよかった。 ・ページごとに自分の意見を書かせるタスクがないので、帯活動などで2～3文程度で生徒に英文を書かせる指導が必要である。教科書の絵などの配置は他社に比べるとシンプルで分かりやすい。
三省堂	・基本文のまとめが豊かである。教科書の本文の内容で、「合理的配慮」が選ばれている。文法が事細かに語られている。 ・単元の学習の流れが、4 技能になっている。見開きで、聞く→話す→読む→書くの順で学習ができる。 ・掲載単語の辞書のページが多い。 ・最後に作文をして授業が終われる流れなのが活用しやすい。 ・文法のまとめページはとても分かり易く書かれている。 ・各 Unit の本文の量が他社と比べて若干少ない印象がある。 ・音声教材のスク립トがついているので、リスニングをした後に、音読練習ができ、技能統合した学習ができる。 ・Let's Talk などは、即興の会話活動で活用できる。 ・教科書の情報がシンプルで生徒が分かりやすい配置になっている。グラフやチャートも3年生以外でも使用されている。
教育出版	・key sentence が充実している。絵が少し複雑であり見にくい。感嘆文が文法項目として存在する。 ・関連資料が少ないが、3年間の目標が書かれているので、学習に見通しをもって取り組むことができる。 ・文法中心で、プロジェクトの活動がある。 ・比較的読みやすい文の構成が多い。 ・小学校の発信語として書かれているところが、既出単語だとよくわかり良い。 ・各セクションの題材は SDGs などに絡めて多方面から触れており、興味関心をとりやすい。 ・トピックの内容はシンプルだが、情報量が多く、分かりにくい印象。タスクがたくさんあるため、教員経験の浅い指導者にはタスクがたくさんあり、指導はしやすい。
光村図書	・「話す」活動に力を入れている。ビジュアルが多い。 ・ICT の活用の仕方や思考ツールについての資料がある。 ・各学年の学び方ガイドが載っているので、自律的学習者を育てる目的がある。最後に各 Unit のリテリングの挿絵がまとまっているので、使いやすい。 ・社会生活につながる内容の文章がみられた。 ・絵やイラストが多く、視覚的に良い。 ・素材自体はおおむね親しみやすいものが多い。 ・イラストが他社に比べて簡素な印象であった。

	・タスクが多く、思考・判断・表現力がつく内容であったが、やや難しい。 ・社会的な話題を取り扱っている。自己表現するまでの手だてが明確である。
啓林館	・全体的に落ち着きのある色が使われている。かなり文法の説明や教科書の作りが細かい。1, 2年生は「学校行事」を本文のモチーフにしている。Can-do リストが細かい。 ・一番シンプルな教科書だと感じた。関連資料は少ない。 ・3つのセクションになっていて、5ラウンドシステムにも向いている。 ・listen&think など、「聞くこと」の活動が多くみられた。 ・シンプルで分かりやすいが、もう少し難易度は高い方がよい。 ・イラストや写真が多く、読みやすい。

【道徳】

発行者	調査結果
東京書籍	・昔からある良い教材が多い。教科書を活用して考える道徳になっている。心情円盤があるのも使いやすい。 ・いじめについての教材を複数配列しているが、そのほかの人権問題については数が少ない。 ・巻末資料として毎回の授業で使うことができる心情円がついている。 ・教材の内容が現代の課題等を意識して工夫されている。コラムが充実しており、学びの広がりを可能にしている。
教育出版	・文章が多く、イラストが少ない。発問も書いてあるが、文章を読むのが苦手な生徒には抵抗感が強くなるのが懸念される。 ・題材の後に配置された「やってみよう」のコーナーで、題材から学んだことを自身の体験に関連させて自分事として考えることができる。 ・新しい教材と定番教材がバランス良く取り入れられている。 情報モラルについて教材とともに、コラムで学びを深められるようにしている。読み継がれてきた教材も適度に取り上げている。
光村図書	・イラストや漫画が適宜あり、読みやすい。QR コードで資料を見られる。内容項目が教材ごとに書かれていてわかりやすい。 ・各学年で人権問題に関する題材を複数回幅広く配置している。 ・題材によって、縦書きと横書きが入り交じっているため、UDの観点や生徒が集中できるように指導者の明確な指示や題材の扱いへの工夫が必要である。 ・小学校で学んだ教材を中学校でもう一度学びなおす形で取り上げている。人権にかかわる教材が多い。
日本文教出版	・最近話題の人(人気のある芸能人など)の話、漫画やイラストがあり、生徒の興味をひく教材が多い。しかし、字が小さい。道徳ノートがついてくる。 ・生徒に身近な人権問題から世界的な人権問題まで幅広く取り扱っている。 ・挿絵や追加資料が多く、状況を把握しやすい構成になっている。また、道徳ノートが付いているため、生徒が学んだことを記述しやすい工夫がなされている。 ・人権教育(多様性・子供の権利条約)や、特別支援教育(ユニバーサルデザイン)の視点がとりいれられている。
Gakken	・人生から考える道徳が多い。ノンフィクションばかり。改訂前は不祥事を起こした人の話があり、使いにくかった。 ・いじめや人権問題を直接的に扱う題材が少ない。教材の内容とその後に続くコラムの関係性が薄く感じさせる物があった。

	・ユニット学習を取り入れている。「クローズアップ」というコラムが充実している。 ・埼玉の偉人が扱われており、カラフルなので読みやすい。
あかつき 図書	・昔からあるものから新しいものまで教材が豊富。ロールプレイなど考えを深める内容が入っている。 ・重点的に考えたい4つのテーマをユニットとしてまとめてあり、いじめ、情報モラル等、生徒にとって身近な題材が多い。 ・教科書全体を通してシンプルでわかりやすい構成となっている。 ・漫画で提示されている教材があり、生徒を惹きつける教材の工夫がされていた。 ・全体的に文字が多く見える印象があり、読むことに抵抗がある生徒にとっては負担感になるかもしれない。一方、挿絵などに惑わされずに読んで考えることができる点は魅力であると感じる。 ・SDG と関連づけての題材配置になっていてよい。
日本教科書	・ウェルビーイングカードがついてくるが、一度カードを使用可能状態に切り取るとその後の保存方法に課題がありそう。 ・4コマ漫画を多く使って、生徒を惹きつける工夫がされている。哲学的な視点を取り入れた教材が取り入れられている。 ・項目ごとの配列になっている。 ・考えを深めるための発問が多く載っている。 ・道徳の指導項目順に教材が並んでいるため、何について指導しているのかがわかりやすい。 ・漫画や写真が多めに使われているような印象であった。